



2024年、連合は経営側の姿勢も散見さにあります。日本は先えざるを得ません。こ生産性の向上が必要不

春季生活闘争の要求を けていましたので、そ 進国の中で最も物価と うした状況を脱し、緩 可欠です。

「賃金引上げ3%（総 うした「空気」を払拭 賃金の安い国の一つと やかな物価上昇とこれ 規模の大小を問わ

額5%）以上」とし、 する私たちの努力は一 なってしまっていま を上回る賃金改善の好 ず、デジタルツールの

昨年以上の賃上げを目 定程度効果を発揮でき ます。物価が安いという 循環が生まれる経済を 更なる活用やビジネス

指すこととしました。 たのではないか、と思 ことは、私たち労働者 作り出していく必要が モデルの見直しなど、

政府や与野党、経営者 います。 の提供するモノやサー あります。そのために 企業体質の強化につい

## 昨年以上の賃上げ目指す

は、より高く、より広 て私たちは企業の対応 を促し、生産性運動三

団体も昨年以上の賃上 今私たちが取り組ん ビスが低く評価されて また、労働力人口減 てはなりません。

げが必要との前向きな ている賃上げの目標 いる、ということに他 少により人材不足が構 こうした課題意識を

姿勢を示しています。 は、物価上昇への対応 なりません。他のコス 造化している日本にあ 持ち、本年も活動を進

亡くなりになられた方 個々の企業労使では、 という事だけではな トや生産条件を同一と って、これから数年・ めて参ります。今後と

々のご冥福を祈り、被 昨年 of 妥結時点で「2 く、「長年停滞してき した場合、物価が安い 数十年継続的に賃金を も全労生の活動にご理

災された皆様にお見舞 年連続の賃上げは期待 た日本の賃金を、再び 国では労働生産性は低 引き上げていくために 解・ご協力をよろしく

いを申し上げます。 しないで欲しい」との 浮上させていくこと かなり、賃金を低く抑 は、その裏付けとなる お願いします。